（別紙4（2））

認知症対応型共同生活介護事業所
グループホームサンホーム新谷

事業所名：

作成日：　令和5年1月6日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念に関して職員は理解はできているが、全職員が理念をもとに日々の支援に繋げることができるよう、例えば理念に沿った年間の個人目標や月毎の目標等を掲げ、目標到達度について管理者・職員がともに振り返るなど理念の共有に繋がる仕組みを導入することで、更なる介護の質の向上に繋げることに期待したい。	個人目標、月毎のの目標を立て全職員で共有する。	朝礼の時理念をみんなで声に出して言う。立てた目標を月毎に振り返り、介護の質の向上につなげる。	3ヶ月
2	14	接遇研修など、特に参加ができていない研修に関し、例えば次年度に向け具体的に研修（勉強会）計画を立案するなど、今後の具体的な取り組みに期待したい。	接遇に関する勉強会を行う。	担当を決め、接遇に関する資料を集めて勉強会を行う。	3ヶ月
3	20	ポータブルトイレを配置している居室が窺える。昼間、居室に置いているポータブルトイレは、入居者にとって居心地良く過ごせる居室の為にも、本人の使い勝手や動線を考慮した上で、必要に応じて目隠し等を検討することが望まれる。	ポータブルトイレの置き場所を決め目隠しをする。	ポータブルトイレに専用のカバーを用意し対応する。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。